

(趣旨)

第1条 この規程は、平戸市医療技術修学資金貸与条例(平成26年平戸市条例第17号。以下「条例」という。)の施行について、必要な事項を定めるものとする。

(貸与の申請)

第2条 条例第3条の規定により修学資金の貸与を受けようとする者は、医療技術修学資金貸与申請書(様式第1号)に次に掲げる書類を添えて平戸市病院事業管理者(以下「管理者」という。)に提出しなければならない。

- (1) 養成施設入学後1年を経過しない者については、卒業した高等学校の校長が発行する成績証明書及び推薦書(様式第2号)
- (2) 養成施設入学後1年以上を経過している者については、当該養成施設の校長が発行する成績証明書及び推薦書(様式第2号)
- (3) 保健所又は医療機関が発行する健康診断書
- (4) 戸籍抄本
- (5) 連帯保証人となるべき者の保証書(様式第3号)
- (6) その他管理者が必要と認める書類

(貸与の決定及び通知)

第3条 管理者は、前条の申請があったときは、申請の内容を審査し、適当と認めるときは、修学資金の貸与を決定し、医療技術修学資金貸与決定通知書(様式第4号)により、当該申請者に通知するものとする。

(借用証書)

第4条 前条の規定により修学資金の貸与の決定の通知を受けた者は、借用証書(様式第5号)を管理者に提出しなければならない。

(修学資金の貸与)

第5条 修学資金のうち、条例第4条第1項第1号及び第2号に掲げる経費は、毎年度当初に、第3号に掲げる経費は毎月貸与する。ただし、第3号に掲げる経費について管理者が特別の理由があると認めるときは、数月分を併せて貸与することができる。

2 条例第4条第1項第1号の規定による、管理者が定める額は次のとおりとする。

- (1) 授業料 短大及び専門学校379,000円、大学520,800円
- (2) 入学金 短大及び専門学校169,200円、大学282,000円
- (3) 実習費 80,000円

(連帯保証人)

第6条 条例第5条第1項の規定により貸与を受けようとする者が立てなければならない連帯保証人は、独立して生計を営む成年者でなければならない。

2 前項の連帯保証人のうち1人は、修学資金の貸与を受けようとする者が未成年者であるときはその保護者(子女に対して親権を行う者、親権を行う者がいないときは、後見人をいう。)、成年者であるときは父母兄弟又はこれに代わる者でなければならない。

(貸与の取消及び停止の通知)

第7条 管理者は、条例第6条の規定により、修学資金の貸与を取り消し、又は停止したときは、医療技術修学資金取消通知書(様式第6号)又は医学修学資金停止通知書(様式第7号)により医療技術修学生(条例第6条第1項第1号に該当して取り消したときは、前条第2項に掲げる者)に通知するものとする。

(返還免除)

第8条 条例第7条又は第9条の規定により修学資金の返還の免除を受けようとする者は、医療技術修学資金返還免除申請書(様式第8号)を管理者に提出しなければならない。

2 管理者は、前項の申請をした者に対し、修学資金の返還免除を決定したときは、医療技術修学資金返還免除通知書(様式第9号)により当該申請者に通知するものとする。

(在職期間の計算)

第9条 条例第7条及び第8条までの在職期間を計算する場合においては、管理者が指定する病院(以下「勤務病院」という。)の職員となった日の属する月から勤務病院の職員でなくなった日の属する月までを算入するものとする。この場合において、勤務病院の職員でなくなった月に再び勤務病院の職員となったときは、その月を1か月として算入するものとする。

2 前項の規定による在職期間を計算する場合において、当該期間中に休職、停職又は育児休業(以下「休職等」という。)の期間があるときは、休職等の期間の開始する日の属する月から休職等の期間の終了の日の属する月までの月数を控除するものとする。ただし、休職等の期間の終了した月において、再び休職等の期間が開始したときは、その月を1か月として控除するものとする。

- 3 第1項の規定による在職期間を計算する場合において、当該期間中に育児短時間勤務をした期間があるときは、育児短時間勤務をした月数の合計に、「1週間当たりの通常の勤務時間数(38時間45分)」分の「実際に勤務した1週間当たりの時間数」を乗じて得た月数を在職期間とする。この場合、算出した月数に1か月未満の端数が生じた場合は、これを切り上げるものとする。
- 4 前項の場合、育児短時間勤務の開始日又は終了日が月の途中の場合は、当該月は1か月在職したものとみなす。
- 5 育児休業期間が満了した日の翌日から育児短時間勤務をした場合において、当該日が月の途中であるときは、当該日の属する月は在職期間から控除するものとする。
- 6 育児短時間勤務をした期間が通算5年を超えたときは、その超えた月数を修学資金の返還債務を当然免除するための在職期間から控除するものとする。

(学業成績表の提出)

第10条 医療技術修学生は、前年度末における学業成績表を毎年4月15日までに管理者に提出しなければならない。

(健康診断書の提出)

第11条 医療技術修学生は、健康診断書を毎年4月15日までに管理者に提出しなければならない。この場合において、健康診断書は、その提出期限前2か月以内に保健所又は公的医療機関において発行されたものでなければならない。

(届出)

第12条 医療技術修学生は、次の各号のいずれかに該当するときは、直ちにその旨を管理者に届け出なければならない。

- (1) 氏名又は住所を変更したとき。
- (2) 退学したとき。
- (3) 修学に堪えない程度の心身の故障が生じたとき。
- (4) 休学し又は停学の処分を受けたとき。
- (5) 復学したとき。
- (6) 連帯保証人の氏名、住所に変更があったとき、又は連帯保証人が死亡したとき、若しくは破産の宣告その他連帯保証人として適当でない理由が生じたとき。

(補則)

第13条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月25日病院局規程第4号)

この規程は、令達の日から施行する。

様式第1号(第2条関係)

様式第1号(第2条関係)

年 月 日

平戸市病院事業管理者 様

本籍地

住所

電話

氏名

◎

性別

男・女

年

月

日生

医療技術修学資金貸与申請書

平戸市医療技術修学資金の貸与を受けたいので、関係書類を添えて申請します。  
なお、貸与決定後は、平戸市医療技術修学資金貸与条例及び平戸市医療技術修学資金貸与条例施行規程に定められた事項を遵守することを誓います。

貸与総額	金	円	貸与期間	年	月から	年	月まで(	か年)	
在学している養成施設名			入学年月日		年			月	日
高等学校入	年		月		年		月		
学後の学歴	年		月		年		月		
家族 の 状況	氏名	続柄	年齢	職業(勤務先)	学校(学年)	年収(税込)	備考		
							円		
帰省先 住所	〒		TEL						
備考									

様式第2号(第2条関係)

(全部改正〔平成31年病院局規程4号〕)

様式第2号（第2条関係）

推 薦 書

下記の者は、学業成績優秀、かつ志操堅固であり、また将来平戸市立病院に医療技術者として勤務するに相応な人物であり、平戸市医療技術修学資金の貸与を受けるのに最も適当な人物であることを認め、責任をもって推薦いたします。

記

- 1 氏 名
- 2 性 別
- 3 生年月日
- 4 本 籍
- 5 住 所

学校所在地  
学 校 名  
校 長 氏 名

㊟

年 月 日

平戸市病院事業管理者 様

様式第3号(第2条関係)

年 月 日

平戸市病院事業管理者 様

連帯保証人 住所  
職業  
氏名 年 月 日生

連帯保証人 住所  
職業  
氏名 年 月 日生  
本人との関係

保 証 書

下記の者が医療技術修学資金の貸与を受けたうへは、その連帯保証人となり、平戸市医療技術修学資金貸与条例及び平戸市医療技術修学資金貸与条例施行規程に従い、下記の者と連帯して債務を負担します。

記

在学している養成施設名

住所  
氏名 年 月 日生

(注) この保証書に押印した連帯保証人の印鑑については、市町村長の証明書を添付すること。

様式第4号（第3条関係）

年 月 日

様

平戸市病院事業管理者

㊤

医療技術修学資金貸与決定通知書

年 月 日付けで申請のあった 年度医療技術修学資金の貸与については、下記のとおり決定したので通知します。

記

決定番号	第	号			
養成施設名			第	学年	
貸与金額	金		円也		
貸与期間		年	月から	年	月まで

様式第5号(第4条関係)

修学資金借用証書

年 月 日

平戸市病院事業管理者 様

決定番号	第	号	
借受人	住所		
	氏名		㊟
連帯保証人	住所		
	氏名		㊟
連帯保証人	住所		
	氏名		㊟

平戸市医療技術修学資金貸与条例に基づく 年度修学資金を  
次のとおり借用します。

借用金額 金 円  
貸与期間 年 月から 年 月まで

(注) 連帯保証人の押印する印章は、印鑑証明のあるものとする。

様式第6号(第7条関係)

様式第6号(第7条関係)

年 月 日	
様	
平戸市病院事業管理者 ㊟	
医療技術修学資金取消通知書	
平戸市医療技術修学資金貸与条例第6条第1項の規定により、修学資金の貸与を取り消す。	
取消年月日	年 月 日

様式第7号(第7条関係)

様式第7号(第7条関係)

年 月 日	
様	
平戸市病院事業管理者	
印	
医療技術修学資金停止通知書	
平戸市医療技術修学資金貸与条例第6条第2項の規定により、修学資金の貸与を一時停止する。	
停止年月日	年 月 日から

様式第8号(第8条関係)

年 月 日
平戸市病院事業管理者 様  決定番号 第 号 住 所 氏 名 <span style="float: right;">㊞</span>
医療技術修学資金返還免除申請書  下記のとおり、修学資金の返還の免除を申請します。  記

修学 資金	貸 与 総 額		円
	返 還 未 済 額		円
	返還免除を受けようとする		円
養 成 施 設 卒 業 年 月 日	年 月 日		
免許取得年月日	年 月 日		
在職した市立病院 の名称及び在職期間	市立病院の名称	在 職 期 間	
		年 月 日～ 年 月 日	
休職又は停職の期間	休職又は停職の	期 間	
		年 月 日～ 年 月 日	
		年 月 日～ 年 月 日	
免除を申し出る理由			

- (注) 1 心身の故障の著しい障害の場合は、医師の診断書を添付すること。  
 2 死亡した場合は、死亡したことを証明する書類を添付して遺族が申請すること。

様式第9号(第8条関係)

年 月 日
様
平戸市病院事業管理者 ㊤
医療技術修学資金返還免除通知書
平戸市医療技術修学資金貸与条例第7条(第9条)の規定により、 下記のとおり修学資金の返還を免除する。
記

修 学 資 金	貸与総額	円
	返還済金額	円
	返還未済額	円
	返還免除額	円